

## ▶ 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会 3月31日  
期末配当 3月31日  
中間配当 9月30日  
その他必要がある場合、あらかじめ公告する一定の日

- 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

- 同 連 絡 先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル)

- 公 告 の 方 法 電子公告により行う  
公告掲載URL <http://www.teikokudenki.co.jp/>  
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。株主名簿管理人（三井住友信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関（三井住友信託銀行）にお問合せください。
3. 未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行本支店でお支払いいたします。

# Business Report

株主の皆様へ

## 第117期 中間報告書

2020年4月1日から2020年9月30日まで



# 事業環境の変化を好機に、変革を推進してまいります。

**Q** 当第2四半期連結累計期間の業績についてお聞かせください。

**A** 当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高9,598百万円（前年同期比16.9%減）、営業利益923百万円（同47.5%減）、経常利益993百万円（同43.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益768百万円（同31.5%減）となりました。

ポンプ事業は、新型コロナウイルス感染拡大により、主要顧客である化学業界において、特に海外での投資計画の見直し等による影響を受け、売上高は減少いたしました。

電子部品事業については、自動車業界の需要が持ち直しつつあるものの、本格的な回復にはなお時間を要しており、売上高は減少いたしました。

また利益面は、売上の減少及び粗利率が悪化したことを受け、減益となりました。

なお、前々期に判明した中国子会社の修理子会社3社の不適切な取引行為に対して過年度にわたり会計処理を行った追加税額（源泉税、増値税、企業所得税）及びその追加税額に対する延滞税・加算税に関し、うち1社の会社清算手続が完了したため、販売費及び一般管理費において69百万円、法人税等において117百万円の未払税金取崩しを行っております。

**Q** 新型コロナウイルス感染拡大への対応についてお聞かせください。

**A** 新型コロナウイルスの世界的な感染拡大は、当社においても業務への影響は避けることはできず、当社はこの対応を早い段階から行うとともに、働き方改革を推進してまいりました。

まず、政府方針に準拠した感染拡大防止策を講じ、状況に応じて見直しを行いながら、その遵守の徹底により感染防止に努めてまいりました。また、感染症に関するBCP（事業継続計画）を策定し、緊急時の事業継続・早期復旧に向けた対応強化を図りました。

働き方改革としては、テレワークでの勤務や時差出勤等により、従業員とその家族の安全を最優先に考えた勤務体制及び職場環境を整備しました。また、電子印鑑システムの導入、各種会議のオンラインでの実施、お客様とのWeb会議を通じた打合せ等のデジタルシフト推進等、感染防止対策としてだけでなく、更なる業務効率化を図れるよう、新たな働き方を取り入れております。

今後も、変化を恐れずこのような取り組みを継続しながら、当社グループの社会的責任を果たしてまいります。

**Q** 今期の見通しはいかがでしょうか？

**A** 今般の第2四半期決算開示に合わせ、通期連結業績予想を上方修正し、売上高19,010百万円、営業利益1,720百万円、経常利益1,840百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,350百万円となる見込みであることを公表いたしました。

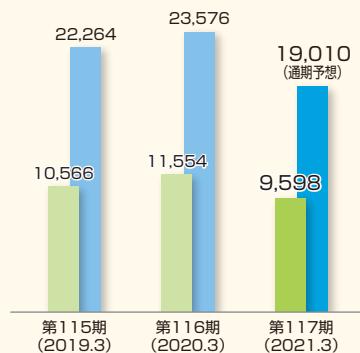
主力のポンプ事業の売上は、新型コロナウイルスによる経済活動の減速により、設備投資やプロジェクトの延期が相次いだ欧米市場が当初予想を下回る見通しであるものの、日本及び東南アジア市場が想定よりも新型コロナウイルスの影響が少なく当初予想を上回る見通しであります。

また電子部品事業の売上は、自動車業界の需要の持ち直しにより回復傾向にあることから、全体としては当初予想を上回る見込みであります。

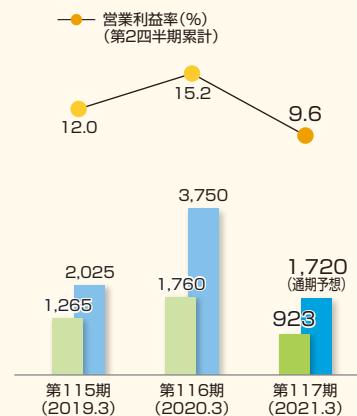
利益については、売上増加に加え、WEBを活用した営業活動による旅費等の経費削減、及び中国子会社の修理子会社3社のうち1社の清算に係る未払税金取崩しが生じたこと等から当初予想を上回る見込みであります。

代表取締役  
社長執行役員  
白石 邦記

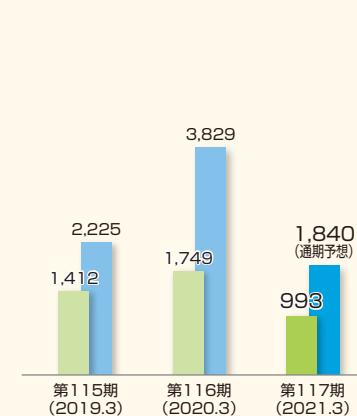
■ 売上高



■ 営業利益 / 営業利益率



■ 経常利益



■ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



■ 第2四半期累計 ■ 通期 (単位：百万円)

(注) 1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。  
2. 第115期第2四半期累計における数値は、金融商品取引法に基づく過年度決算訂正を反映した数値であります。

## セグメント別事業の概況

### ポンプ事業

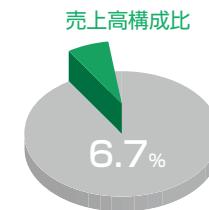


ポンプ事業は、国内市場は定量ポンプ及び部品販売が下支えとなり、前年同期並みの水準を維持した一方、海外市場において主にケミカル機器キャンドモータポンプが減少したこと等から、全体として低調に推移しました。

その結果、売上高は8,738百万円（前年同期比16.2%減）、連結売上高に占める割合は91.1%となりました。

また、営業利益は、売上の減少に加え、粗利率の悪化等により1,037百万円（同44.0%減）となりました。

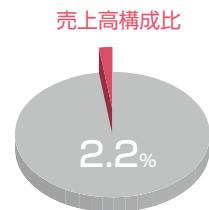
### 電子部品事業



電子部品事業は、売上高は646百万円（前年同期比22.5%減）、連結売上高に占める割合は6.7%となりました。

また、営業利益は、売上の減少により158百万円の営業損失（前年同期は143百万円の営業損失）となりました。

### その他



その他は、売上高は213百万円（前年同期比27.4%減）、連結売上高に占める割合は2.2%となりました。

また、営業利益は、売上の減少により、45百万円（同15.6%減）となりました。

## TOPICS

### キャンドモータポンプUCWC型の販売開始

当社は株式会社荏原製作所（以下、荏原製作所という。）との技術業務提携により、石油精製・石油化学業界向けキャンドモータポンプUCWC型を共同開発し、荏原製作所より販売を開始いたしました。当社は、荏原製作所に同製品のキャンドモータ及び同附属品を供給しております。同製品は、軸封装置を用いず完全無漏洩を実現する当社のキャンドモータ技術と石油精製・石油化学業界向けプロセスポンプにおける荏原製作所の豊富なノウハウを融合したものであります。危険な液体を取り扱う石油精製・石油化学の世界市場において、シールレスポンプに関するアメリカ石油協会規格API685への準拠、完全無漏洩という特長を活かし、安全性の向上、環境負荷・メンテナンス負荷の低減に貢献してまいります。



### デジタルトランスフォーメーション（DX）への当社取り組みについて

現在、当社においては、業務効率化やイノベーションを目指したDXを推進しております。今回は、その取り組み内容についてご紹介いたします。

まず、業務効率化の観点から、電子調達システムを導入しました。これにより、従来の注文書発送に伴う事務作業が大幅に軽減されました。また、工場にタブレット端末を導入し、現場での作業要領書確認等を容易にできるようにしたり、海外子会社から当社への部品発注を円滑化するためのシステムを構築する等、IT技術を使った業務の効率化を進めています。

次に、人材教育の観点から、ウェアラブルカメラを導入しました。これにより、国内外子会社に対して技術指導を遠隔で行えるようになり、品質向上につながりました。

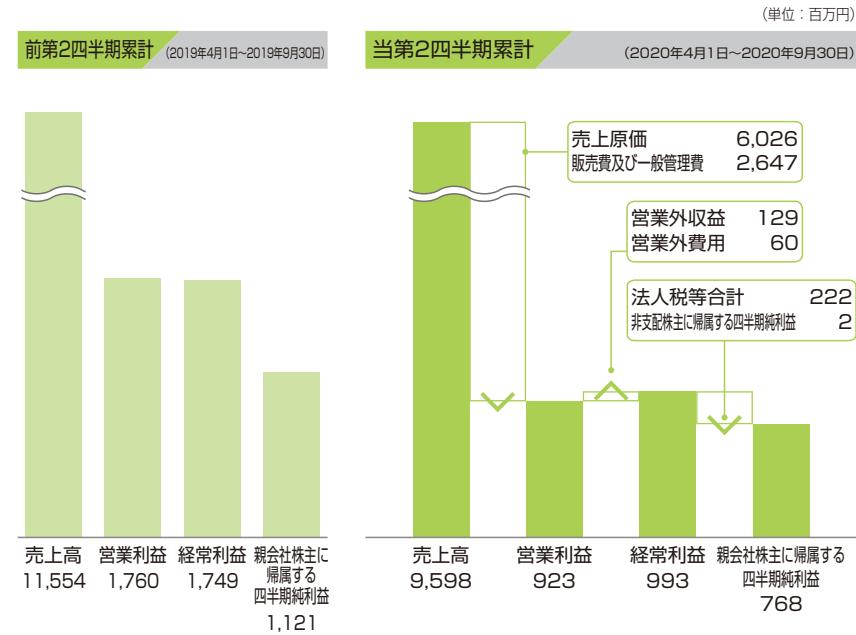
そして、新しいビジネス創出という観点から、当社では2年前に無線遠隔監視装置を開発し販売しておりますが、これを使った保守サービスの推進を行うため、お客様へのPRを強化しております。現在、本社工場内の組立試験工場に無線遠隔監視装置を設置しており、立会検査に來社されたお客様に当装置を体験いただき高い評価をいただいております。

今後も更なる業務効率化やイノベーションを目指したDXを推進してまいります。

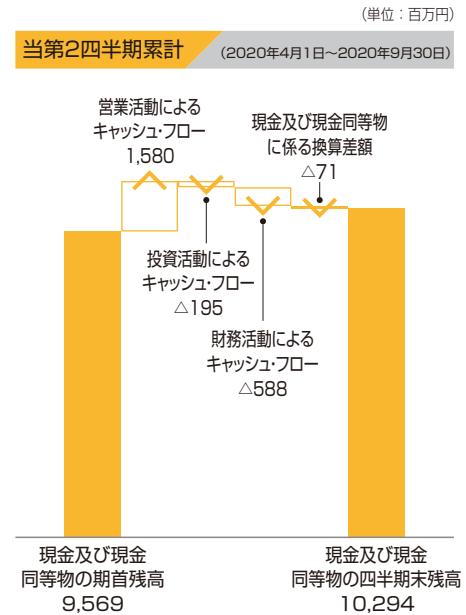


## 四半期連結財務諸表

### 四半期連結損益計算書



### 四半期連結キャッシュ・フロー計算書



### 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期末 (2020年3月31日現在)	当第2四半期末 (2020年9月30日現在)	科目	前期末 (2020年3月31日現在)	当第2四半期末 (2020年9月30日現在)
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
流動資産	23,731	23,530	流動負債	6,825	6,205
固定資産	11,046	10,886	固定負債	901	884
有形固定資産	8,706	8,554	負債合計	7,726	7,089
無形固定資産	564	471	<b>純資産の部</b>		
投資その他の資産	1,775	1,859	株主資本	26,505	26,880
資産合計	34,777	34,416	その他の包括利益累計額	409	309
			非支配株主持分	136	137
			純資産合計	27,051	27,326
			負債純資産合計	34,777	34,416

## 会社情報／株式情報

### 会社概要 (2020年9月30日現在)

社名 株式会社帝国電機製作所  
TEIKOKU ELECTRIC MFG. CO., LTD.  
設立 1939年9月12日  
資本金 31億3,297万6,450円  
従業員数 連結 1,274名 単体 332名  
本社 〒679-4395  
兵庫県たつの市新宮町平野60番地  
Tel. 0791-75-0411 (代表)  
ホームページ <http://www.teikokudenki.co.jp/>

### 役員 (2020年9月30日現在)

代表取締役社長執行役員 白石邦記 取締役(常勤監査等委員) 加減孝司  
取締役常務執行役員 頃安義弘 社外取締役(監査等委員) 林晃史  
取締役執行役員 舟橋正晴 社外取締役(監査等委員) 川島一郎  
取締役執行役員 村田潔 社外取締役(監査等委員) 沖剛誠  
取締役執行役員 佐藤哲造 執行役員 杉本洋一郎

### グループ会社 (2020年9月30日現在)

国内子会社 ・株式会社協和電機製作所  
・上月電装株式会社  
・株式会社帝伸製作所  
・株式会社平福電機製作所  
海外子会社 ・TEIKOKU USA INC.  
・大連帝国キャンドモータポンプ有限公司  
\*台湾帝国ポンプ有限公司  
・TEIKOKU SOUTH ASIA PTE LTD.  
・TEIKOKU ELECTRIC GmbH  
・TEIKOKU KOREA CO.,LTD.  
・HYDRODYNE TEIKOKU(INDIA)PVT.LTD.

(注) \*は大連帝国キャンドモータポンプ有限公司の子会社であります。

### 株式の状況 (2020年9月30日現在)

発行可能株式総数 69,200,000株  
発行済株式の総数 20,423,438株  
株主数 3,295名

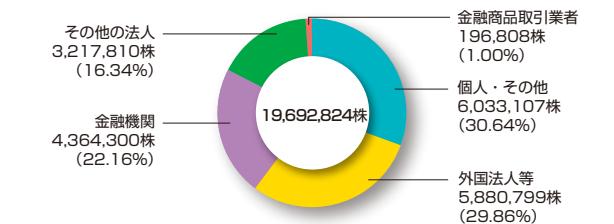
### 大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
三菱電機株式会社	2,286,400株	11.61%
株式会社日本カストディ銀行	1,884,400株	9.57%
GOLDMAN SACHS & CO. REG	1,493,100株	7.58%
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	1,269,378株	6.45%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,226,000株	6.23%
NIPPON ACTIVE VALUE FUND PLC	700,000株	3.55%
徳永 耕造	525,900株	2.67%
刈田 耕太郎	472,244株	2.40%
帝国電機取引先持株会	422,300株	2.14%
株式会社三井住友銀行	410,000株	2.08%

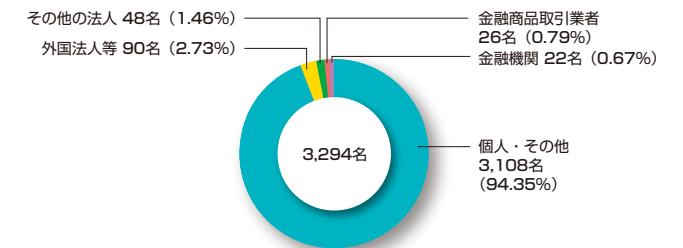
(注) 1.当社は自己株式を730,614株所有しておりますが、上記大株主から除外しております。  
2.持株比率は自己株式を控除して算出してあります。  
3.株式会社日本カストディ銀行の所有株式には、(信託口)、(信託A口)、(信託B口)、(証券投資信託口)、(年金信託口)、(年金特金口)、(信託口1)、(信託口2)、(信託口4)、(信託口5)、(信託口6)、(信託口7)の所有株式数を含めて表示しております。

### 株式分布状況

#### ■所有者別株式分布状況



#### ■所有者別株主分布状況



(注)自己株式(1名730,614株)を控除しております。